

平成 22 年 8 月 18 日

お客様各位

独立行政法人 国民生活センターにおける報道発表 「電子タバコの安全性を考える」に関する見解

この度、平成 22 年 8 月 18 日に独立行政法人 国民生活センターから「電子タバコの安全性を考える」に関して報道発表がございました。

全国的な禁煙・分煙の意識の高まりや、平成 22 年 10 月からのたばこ税の増税の影響等から電子タバコが注目を集めている中、「ニコチンが含まれていない」と明記された電子タバコのカートリッジから微量のニコチンやジエチレングリコールが検出されるものがあったことや、PIO-NET（全国消費生活情報ネットワーク・システム）に電子タバコに関する相談や品質・機能に関する相談が寄せられたことを元に、「カートリッジにニコチン及びジエチレングリコールが含まれていないか」等の調査が実施されました。

【報道発表の主な内容】

- ・国内で販売されている 25 銘柄中、11 銘柄でニコチンが検出された。
国内ではニコチンは医薬品成分に指定されているため、人が経口的に摂取するものにあつては、原則として国内で流通するタバコ以外では医薬品にしか含まれていてはならないため、薬事法上問題となるおそれがある。
- ・参考品を加えた 27 銘柄全てでジエチレングリコールは検出されなかった。
- ・3 銘柄で充電器に PSE マークの表示がなく、3 銘柄で PSE マークが通常の状態では見えないところに表示されており、これら 6 銘柄については、電気用品安全法に抵触するおそれがある。

弊社の電子タバコ「TaEco（タエコ）」も調査対象となりましたが、調査の結果、ニコチン・ジエチレングリコール共に検出されておられません。また、PSE マークの表示方法やその他の不備もございませんでした。

「TaEco（タエコ）」におきましては、カートリッジ製造段階から品質管理を徹底しており、日本国内での第三者機関による各種成分分析もおこなっています。

今後とも、消費者の皆様が安心してご使用いただけるよう、更なる品質管理および安全性の徹底をおこなっていく所存でございますので、変わらぬご愛顧のほど宜しくお願い申し上げます。

サムライン株式会社
代表取締役 関山

